

公益社団法人日本クラフトデザイン協会

## 事業評価委員会 議事録（学術・文化の振興のための活動）

日 時：平成 30 年 3 月 3 日（土） 13：30～17：00

※第 2 回定例理事会の議題として審議された

場 所：日本クラフトデザイン協会事務局（東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-5-15-408）

出席者：（理事）磯谷晴弘 菅野靖 林範親 志賀英二 諏訪薫 内藤広宣 松田光二

吉谷美世子

（監事）岡本昌子 露木清勝

### ●事業の報告について

- ・担当理事から事業について報告がなされた。

第 57 回日本クラフト展 クラフトNEXT

会期：平成 30 年 1 月 6 日（土）～14 日（日） 9 日間

11 時～19 時（最終日 17 時）

会場：東京ミッドタウン・デザインハブ

（東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー5F）

賞：経済産業大臣賞・日本クラフト大賞 1 点・優秀賞 1 点・毎日新聞社賞 1 点

招待審査員賞 3 点・U35 賞 1 点・学生賞 1 点・奨励賞 7 点

併催：受賞者インタビュー 平成 30 年 1 月 6 日

素材別作品解説 会期中 6 回

応募数：474 人 1350 点

入選・展示数：287 人 783 点

入場者数：9346 人（9 日間）

以下、各項目の担当理事からの報告と評価委員の意見等

### ●実施会場について

- ・東京ミッドタウン・デザインハブで 5 回目の開催となった。年ごとに定着感が増している。会員による周知や東京ミッドタウンの広報協力によって入場者の層が多彩化している。今後も継続した周知を行いたい。

### ●実施体制について

- ・実行委員会を組織し準備等を行った。事業規模が大きく委員以外の会員の協力も多数得ての実施であった。併催事業も含め各セクションで担当を決めて実施準備が出来たことは良かった。今後もテーマ設定等の初期段階から積極的に意見収集等を行うよう努めてほしい。

### ●応募状況について

- ・前年度より僅かに減少した。  
しかしながら応募された作品は質の高い作品が多かった。  
若手の作品に優秀なものが多かった印象がある。これはとても良い傾向であるが、それと同時に熟練した制作を行うベテラン層への働きかけ、また入選後のことなどを更に具体的に検討し周知していく必要を感じる。
- ・公募展の魅力や意義を分かりやすく伝えていく必要がある  
また、応募要項等送付先の再検証をすべきである。HPをもっと魅力的にして情報発信の拠点にしていく必要を感じる。

### ●展示について

- ・前年度に引き続きコストを出来るだけ抑え、質を保つ工夫を行ったものの大きな支出減になったとは言い難い。少しずつ効果は出ているが、今後も継続した検討が必要である。今年度はテキスタイル作品を空間展示することで会場が分断されることなく全体の見通しも良かった。

### ●会期中イベント

- ・展示会場と隣接するインターナショナル・デザイン・リエゾンセンターで受賞者インタビューや会員による素材別解説など、本展や作品について理解を深めてもらうイベントの他、チャリティーマーケットやセミナー・ワークショップも開催した。来場者には大変好評であった。またチャリティーマーケットでは静岡茶商業組合の協力を得て緑茶サービスを行った。会員作品の器を使用し、会場の滞在時間を長く、また楽しく時間を過ごしていただくことが出来た。
- ・授賞式を土曜日であった初日に行ったことで、入選者の参加が例年より多く、充実した交流の場となった。

### ●事業目的の達成について

応募者数、入場者数共に目標の数字への達成は果たせなかったが、若い世代の応募者に優秀な作品が多く、周知の効果は少しずつであるが結果に繋がってきていると感じる。また地域産業振興プロジェクトの応募を引き続き続けてもらうよう地場産

業センターや各地のデザインセンターへの働きかけを積極的に行う必要がある。クラフトの考え方は幅広く、時代とともに変化するもの、しないもの等様々であり、暮らしを豊かにという大きな目標を軸に共存している現状の魅力を、わかりやすく伝えていく必要がある。

3回目となる自転車テーマにした会員によるリレー展示を開催した。今年度はアイテムの幅も広がり、また競輪をスマートに楽しむための提案もあった。今後もモノ作りという点での共通性、また自転車のある暮らしの提案等、今後も継続しながら展開していく。

韓国 2017 清州工芸ビエンナーレでの出展は、昨年度の当事業受賞者や出展者を中心に人選がされた。日本のクラフトの魅力を十分に伝えることが出来たと感じる。今後も様々な方法で国内・海外においてクラフトの魅力を広め伝えること、またそうした事業を通じて日本のクラフトが更に向上していくよう、今後も継続した活動が必要である。

以上

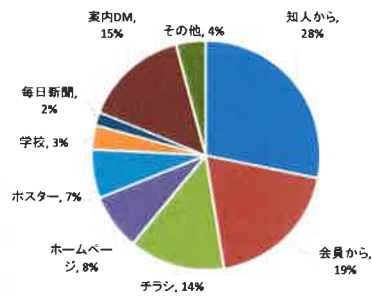
第57回日本クラフト展 アンケート

◆開催期間：2017年1月7日（土）～1月15日（日）

◆回答総数：582名

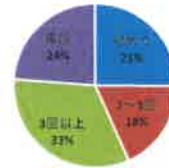
<A>日本クラフト展を何で知りましたか

知人から	184	28%
会員から	112	19%
チラシ	79	14%
ホームページ	46	8%
ポスター	40	7%
学校	20	3%
毎日新聞	11	2%
案内DM	86	15%
その他	24	4%
	582	100%



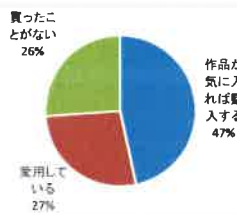
<B>これまでにクラフト展を何回ご覧いただいていますか

初めて	146	25%
2～3回	106	18%
3回以上	192	33%
毎回	138	24%
	582	100%



<C>クラフト作品を生活の中に取り入れていますか

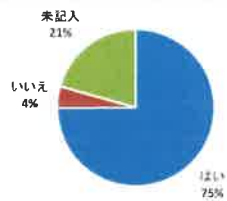
作品が気に入れば購入する	271	47%
愛用している	159	27%
買ったことがない	152	26%
	582	100%



<D>56回日本クラフト展をご覧になっていかがですか

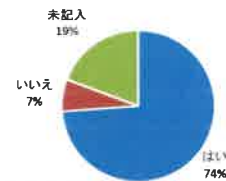
●気に入った作品はありましたか？

はい	436	75%
いいえ	26	4%
未記入	120	21%
	582	100%



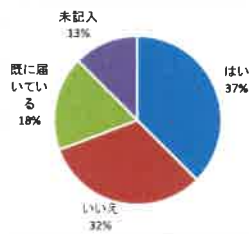
●作品の展示は見やすかったですか？

はい	430	74%
いいえ	40	7%
未記入	112	19%
	582	100%



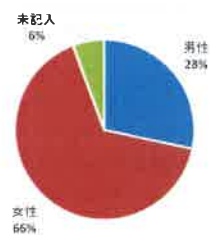
<G>次回の日本クラフト展の案内を希望しますか

はい	218	37%
いいえ	185	32%
既に届いている	106	18%
未記入	73	13%
	582	100%



アンケートに答えてくださった方の<性別>

男性	185	28%
女性	384	66%
未記入	33	6%
	582	100%



アンケートに答えてくださった方の<年齢>

～10代	7	1%
20～30代	73	13%
40～50代	119	20%
60～70代	304	52%
80代～	40	7%
未記入	39	7%
	582	100%

